

10月1日より緊急事態宣言等が解除されておりますが、千葉国際水泳場の感染対策に変更はないということです。以下、感染防止策を徹底して実施します。参加上の注意事項（別添）と合わせてお読みください。

本大会は無観客で行います。また、会場への入場は原則選手のみとします。
また、要項に従い事前に申請した同行者や大会関係者の入場を認めます。

選手、選手の同行者（コーチ、保護者などの立場に関係なく）、競技役員、および会場に入場する関係者については、参加前 14 日間の体温を含む「健康チェックシート」の提出が必要です。「健康チェックシート」は参加者に事前に配布しております。各自の参加初日（練習日または大会日）に必ず持参してください。提出がない場合は会場に入場することができません。

入館時に健康チェックシートの確認と検温を行います。表面温度計により 37℃以上の場合、腋窩検温を行います。平熱より高い熱（37.5℃以上を目安とする）がある場合や、健康状態によっては入場をお断りすることがあります。健康状態を確認し参加可能と判断された方には、ADカードをお渡しします。ADカードは会場内では常に携帯（首から下げる等）してください。ADカードがない場合は会場に入場できません。

ADカードを受け取った後は、毎日起床時の体温を記入し、入館の検温時にご提示ください。

ADカードは各自最終日のお帰りの際はご提出ください（用紙のみ提出、ホルダーは持ち帰り）。

ワクチン接種や、PCR 検査等を実施して参加されることを推奨します。

【参加に際しての全般的な注意事項】

- （1） 参加選手及びすべての入場者は参加当日ならびにその前 14 日間に以下の事項について該当がないか確認します。健康チェックの結果、下記の症状があれば大会参加及び、入場をお断りします。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感） 息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 臭覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 下痢や頭痛
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居している人や身近な知人に感染が判明した、または感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- （2） 参加者は「健康チェックシート（38 回用）」に参加前 14 日間の検温を含む健康状況を記載し、提出しなければなりません。大会参加初日に必ず持参してください。コーチ、介助者、同伴の家族、競技役員、その他の大会関係者についても同様です。強化指定選手、育成 S 指定選手はアスリート・ポートに入力したものを、プリントアウトして持参しても構いませんが、必ずペーパーで提出してください。
- （3） マスク（不織布に限る）、体温計などは各自で持参してください。

- (4) 施設への出入りは最小限にしてください。いったん外出された際は入場時に再度検温手指消毒を行なってください。
- (5) 期間中、起床時の検温を行い、平熱を超える体温や体調が悪いときは勇気をもって、参加を中止してください。
- (6) 「健康チェックシート」ならびにADカードは感染対策担当者が集約し、JPSF 感染症対策部会において1か月保管します。必要時は公的機関に提出しますので、あらかじめご了解ください。
- (7) 大会期間中、発熱を認めた場合は、その時点で参加を中止とし、すみやかに退館してください。発熱以外に感染症を疑う症状がある場合も同様に参加を中止し、退館していただきます。
- (8) 参加にあたり前もって厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA をインストールして、稼働させてください。
- (9) 開催地までの移動においても、十分な感染防止対策をとってください。
- (10) 会場内の動線や案内に従って移動してください。
- (11) 大会中に体調不良となった場合はすみやかに医務班に相談してください。
- (12) その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示について従ってください。
- (13) 大会終了後2週間以内に新型コロナ感染症を発症した場合は、濃厚接触者の有無も含めて、主催者に連絡をしてください。(連絡先: 日本パラ水泳連盟 神戸事務所)

【練習や競技会時の注意事項】

- (1) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離をできるだけ2m以上(最低1m)をとって行動してください。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- (2) プール内でも他者との距離を2mを目安に(最低1m)保ってください。練習時各レーン内で待機する場合も、他者との距離を保ってください。
メインプールは1レーン10人、ダイビングプールは1レーン5名を目安に使用してください。
レーンの使用については当日の主催者の案内に従ってください。
- (3) 泳ぐときを除いてマスクを着用してください。
観覧席、招集、選手待機場所、会議室等では、人との距離・座席間の距離を保ってください。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。アルコールにアレルギーがある場合は石鹸による手洗いを実施してください。
- (5) 大きな声での会話や応援は控えてください。
- (6) 練習時、介助者等は大きな声での指示は控えてください。呼気式のホイッスルの使用は禁止とします(電子ホイッスルは使用可能、必要に応じて各自で準備すること)。
- (7) 唾や痰を吐くことは極力行わないでください。吐く場合は排水溝に確実に入れ、多めの水で流してください。
- (8) 練習用具やマット、デバイス等は共有しないで、各自で用意してください。
- (9) 介助者が介助を行う際はマスク着用の上、お互いに接触したら手洗いをするなど、感染予防対応をとってください。ケアなどの接触は極力控えてください。また、目の粘膜の保護にメガネなどを装着することを推奨します。
- (10) 招集所で密にならないよう競技開始予定時刻の10分前をめどに集まってください。あわせて会場内の指示がある場合はその指示に従ってください。
- (11) レース直前までマスクを着用してください。外したマスクや衣類が直接かごに触れないようビニール袋等に入れてください。なお、レース前はマスクバンドの利用を推奨します。
- (12) レース直後の会話は控えてください。呼吸が落ち着くまでは他者との距離を十分に保ち、呼吸が落ち着き次第マスクを着用してください。

- (13) 更衣室ではマスクなしでの会話は控えてください。使用した椅子などを消毒してください。
- (14) 熱中症にも留意し、水分補給を心がけ、他者との距離が保てる場合はマスクを外すなどの熱中症対策をとってください。
- (15) 観覧席は二つ席を空けて、前列と重ならないように距離を確保して座ってください。
- (16) 飲食については、指定場所以外で行わないでください。ドリンクの回し飲みは行わないでください。
- (17) 食事の際は席のとり方に注意し(真正面に座らない等)、食事中的会話は控えてください(黙食)。
- (18) トイレを流す時は蓋をして流してください。トイレ使用後は手洗いを丁寧に行い、マイタオルを持参してください。
- (19) 鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して処分してください。ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (20) 自分の練習や競技が終了したら、速やかに会場から退館してください。
- (21) 会場内は適時換気が行われています。必要に応じて窓を開けますので、各自で保温に留意してください。
- (22) 「参加上の注意事項」に記載した入場時間や練習時間を守ってください。
- (23) その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示に従ってください。

【競技役員等スタッフの注意事項】（上記以外に特別なことのみ記載）

- (1) 競技役員はマスク（不織布マスクに限る）を着用し、必要に応じて、使い捨て手袋、フェイスシールドを併用してください。
- (2) 控室が密にならないように、分散して休憩をとってください。
- (3) 医務救護班、会場係は参加者の感染対策が実施できているか適時巡回して、不十分な場合は指導してください。
- (4) 競技に使用する機器・機材は適時アルコールシート等に消毒をしてください。

【宿泊施設での注意事項】

- (1) 施設にて実施されている感染予防対策を遵守してください。
- (2) ホテル内で、ミーティング等で密にならないように各自で留意してください。
- (3) 室内の換気状況や乾燥に留意し、適度な湿度を保つようにしてください。

【その他】

- (1) 外食する場合、感染対策が取られている飲食店を利用してください。また、席の座り方に留意してください。多人数での利用は控え、黙食を心がけてください。特にレース終了後は開放的になりやすいので、ご注意ください。
- (2) 大会参加に際しては、2週間から感染リスクの高い場所への立ち寄りなどの行動は控えてください。

以上

安全・安心な大会の開催に向けて一人1人が感染防止策の徹底をお願いします。

(一社) 日本パラ水泳連盟
感染症対策部会